



「道徳」＝「自分をよりよくするためのヒントを探す時間」となるように

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

道徳教育は、生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成することをねらいとして行われています。本校では、各学年、年間を通じて「22の心」について道徳の授業を通して考えていきたいと思います。そして「22の心」のうち、布水中の生徒と先生で特に大切にしたい以下の3つの心を今年度の重点項目としました。

- 自分で考え、正しく判断し、行動して、その結果に責任を持つ心
- 一人一人の個性を大切にし、いろいろな見方や考え方があることを理解して、お互いを大切にしよう心
- 命を大切にする心

<「家族の手紙」への協力のお願ひ>

布水中学校では毎年、夏休み前に家族をテーマにした授業を行っています。その中で「家族の手紙」を書くよう推奨しています。「家族」をテーマにした教材をもとに「家族」について考え、子どもたちが日頃、思っている感謝の気持ちを書くものです。お子様が下記の用紙を持って帰りましたら、ご協力いただけるご家族の方には100字ほど書いていただきたいと思います。

メ切日(1・3年:8月21日 2年:8月20日) 学年登校日をメ切とさせていただきます。

相手の名前	相手(続柄) 手紙を書いた	名前	学年・組	学校名
ふりがな	(例) 父・母・祖父・祖母・兄弟・姉妹	ふりがな	年 組	市立 立 県立 立 国立・私立 立 中学校 立 小学校 立

応募する人について

へ(返事を書く人)

100字以内で書いてください。
「」。「」も1字に入れます。

へ(最初に書く人)

100字以内で書いてください。
「」。「」も1字に入れます。

↑こちらに記入してください。